

令和3年度 第1回 社会教育委員会 会議録

日 時 令和3年5月25日（火）

午前10時30分から午前11時50分

場 所 豊明市役所 新館3階 政策審議室

出席者 橋本委員、緒方委員、青木委員、奥村委員、堀川委員、古川委員、金子委員、平野委員

欠席者 佐藤委員

事務局 教育長、教育部長、生涯学習課長、図書館長、生涯学習課長補佐、生涯学習担当係長

傍聴人 なし

1 委嘱状交付

2 委員自己紹介

3 議題

(1) 令和2年度事業報告について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会議時間の短縮を図るため、事務局からの口頭説明は割愛。質疑応答のみとした。

質疑等

委員

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でもやれる事業はやっていただいております。非常にご苦労された年度となったと思います。生涯学習・文化・スポーツ・図書館事業を進める中でどのような点にご苦労され、今年度にもどのように活かしていきたいかをお聞かせいただきたいです。

事務局

苦労した点は、事業を中止するかしないかを判断することでした。事業を全て

中止にすることは難しくありませんが、それでは生涯学習課の使命である市民の方が文化的に生活を営んでいただくことを放棄することとなってしまいます。その使命を全うするため、コロナウイルスの影響がある中でどのようにすれば安全・安心に事業を継続できるか、課員全員がアイデアを出し合いやれるものはやっていく姿勢で昨年度は取り組んできました。今年度もこの姿勢で事業に取り組んでいきたいと思っています。

委員

文化財の資料を拝見させていただくと、昨年度4件の文化財が市の指定となったと書かれています。両村塾址については、12月と1月に企画展などをやっておられ市民へPRをされておりとても素晴らしいことだと思います。これからもこれらの市指定文化財を幅広く市民へ周知して欲しいと考えていますが、なにかお考えがあればお聞かせいただきたいと思っています。

事務局

重要な文化財を広く市民の方へ知っていただくことは我々の役割だと感じています。その中で来年度から旧唐竹小学校を多世代交流館をとという新しい施設に生まれ変わらせるよう計画が進んでいます。その施設に新しい歴史民俗資料室が作られることになっており、桶狭間にスポットを当てたコーナーや市の文化財の常設展などを設けるといった、市民の方に豊明の歴史をさらに深く知っていただけるような仕掛けを打っていきたいと考えています。

委員

事務局から常設展を設けるという話がありましたが、歴史を知るには常設展だけではなく、活動的なものも取り入れた方がいいように思います。例えば、季節毎に史跡を巡るイベントだったりを企画し、景色を見ながら歴史に触れればさらに

豊明に関しての理解が深まるかと思しますので、是非、そういったイベントも行っていただきたいと思います。また、豊明を団体が歩いているのを見かけた時、とある歴史のイベントをやっておられ、お恥ずかしながらその際に初めてそのイベントの存在を知り、知っていれば参加をしたかったという悔しい思いをしたことがあります。こういった経験をされた方は私だけではないと思しますので、そういった方をうまく取り込めるような企画の告知をしていただければさらに盛り上がっていくのではと感じます。

事務局

貴重なご意見ありがとうございます。資料室を見学するだけでは、見えてこない部分も多数あり、市としてもウォーキングをしながら史跡を巡るといった学習とスポーツの両方の観点から豊明市を知っていただくという企画は考えておりますが、おっしゃられているように市民の方への告知方法が課題の一つとなっております。今後、効果的な告知方法について検討をしていきたいと思っております。

(2) 南部公民館リニューアルについて

生涯学習担当係長が南部公民館のリニューアルについて口頭説明。

委員からの意見等

- ・駅前という立地の割には、場所がわかりづらいため認知度が低いように感じます。もっと大々的にPRをお願いします。
- ・会議室という名称で用途が限定しているように感じさせる印象があるため、名称変更を考えてもよいのではないのでしょうか。
- ・にぎわいのある空間という目的を達成するため、若者も利用しやすい工夫をしていただければと思います。
- ・自宅で勉強する場所を確保することができない子どもたちのために、学習スペースの拡充を考えていただきたいと思います。
- ・体を動かす講座を実施するために広いスペースが必要になります。大会議室のようなスペースは利用者のために残して欲しいです。

以上の意見等を踏まえ、事務局から現在の見解を述べた。

事務局

本レイアウトはあくまで完成形ではなく、イメージ図という前提のもと話をさせていただきます。

今回のリニューアルは、図書館栄分室が閉館したことによって豊明市南部にお住まいの方にご不便をかけてしまっていますので、南部公民館に現存している図書室の充実が一番の目的となっております。その中で公民館としての機能をこれまでよりも活かすことで年齢を超えて様々な世代の方が立ち寄っていただけるようになぎわいのある空間づくりを目指しています。

レイアウト図にあるように図書スペースを拡充させるために、小さな会議室の壁を取り去り、図書スペースとさせてもらう予定となっておりますが、これは普段南部公民館を利用いただいている団体にアンケートを取り、率直な意見を伺ったところ、小さな会議室であればなくなったとしても活動に差し支えはないとご回答をいただいたため、このようにさせていただいています。

このほかにも部屋はありますが、ある程度の用途は決めつつも、柔軟な使い方ができるように部屋の機能を切り替えていけるような作りをしていきたいと考えています。

また、図書についてですが、置ける本が限られていることもありますので、南部公民館を利用される世代を調査した上で特化した蔵書を設置したいと考えています。そして、現在ある本棚は人の背よりも高く、照明を遮って部屋全体に暗い印象を作ってしまったので、中央に置く本棚は現在のものよりも低くして全体的に開けた明るい雰囲気を作りたいと考えています。

本日の皆様のご意見も参考にさせていただきまして、今後調整を重ねていきたいと思っております。

(3) その他について

事務局から令和3年度愛知県社会教育委員連絡協議会評議員会及び総会についての案内及び第3次とよあけ生涯学習アクションプラン策定のご協力に関するお礼。

(3) については質疑・意見等はなし。